

## －生活排水について－

森本美紀子

今林裕子

＜目的＞生活のなかにおける環境問題に対する意識が近年高まったきたように思われる。我々はその環境問題のなかでも人間の生活に最も必要とされている＜水＞に着目した。閉鎖系水である博多湾は、大規模な工場がないことから生活排水に起因する負荷が大きい状況にあり域湾の水質が悪化してきている。家事に係わる女性が家庭から流れ出る生活排水の＜水＞に対してどれほどの意識を持って生活しているかを福岡県に在住する女性を対象にしてアンケート手法により調査してその結果を集計分析して生活排水に対する意識を探った。 ＜結果と考察＞川の水が汚くなったと感じる人が81.3% 水道の水が＜おいしい＞と感じない人が69.2% , これから水が汚くなると思う人が 65%の結果であり＜水＞に不安感を抱いていることが明らかになった。環境問題の学習会等に参加経験のある女性とない女性とでは廃油の処理方法、廃油せつけんの作製経験、環境整備活への参加経験、他7項目において差が認められ意識の差が明らかであった。合成洗剤と粉セッケンを使う人では意識の差は統計学的に認められなかった。